

# 頸椎牽引装置 床置きタイプ

## 使用説明書

安全にご利用いただくために、必ずご使用前にお読みください。  
また、いつでも読めるよう大切に保管しておいて下さい。

### 目次



用途	1
使用上の注意	1
商品の名称	2
組み立て方	2
設定方法	3
使用方法	4

### 用途

頸椎の牽引

### 使用上の注意

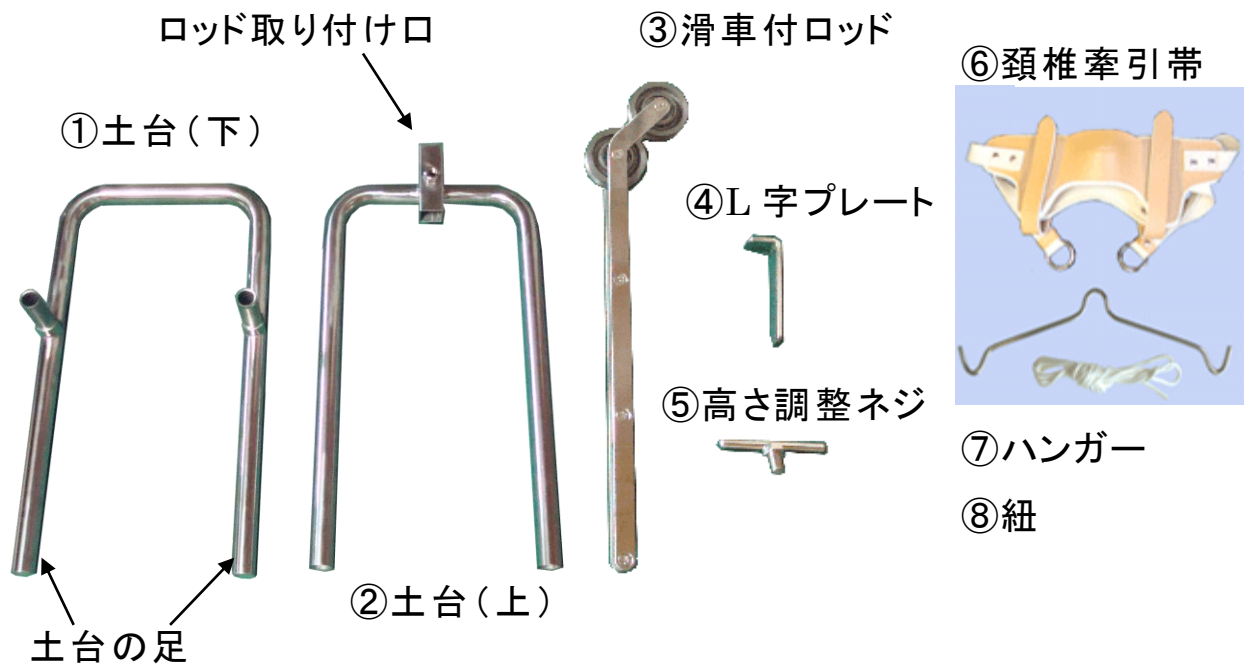
本使用説明書では安全に関わる注意事項をその危険の大きさの程度に応じて次のように分類しています。

-  **警告** 誤った使い方をすると、人が重症を負う可能性がある内容
-  **注意** 誤った使い方をすると、人が軽傷を負うか、または本品以外の他の財物に損害を与える可能性がある内容



1. 牽引開始の頃、嘔気の頸部痛が、却って増悪することがあります。痛みが強い時は中止してください。
2. 小さい子供さんが居る家庭では、子供さんの手に触れることのないよう管理してください。
3. 牽引開始後、頸部痛が酷くなったり、しびれたりするような場合はすぐに牽引を中止し医師に相談してください。

## 商品の名称



※ 重り、重り袋は別売りになります。

## 組み立て方



1. 土台(上)と土台(下)を接続してください。このとき必ず水平な床の上で行ってください。向きがありますので、ロッド取り付け口が写真のように土台の足に対して逆側になるように取り付けてください。また、奥までしっかりと差し込まれていることを確認してください。



2. 滑車付ロッドを土台の取り付け口に静かに挿入してください。向きがありますので、写真のように取り付けてください。



急に手を離すと滑車付ロッドが落下し、床を傷つけたり、怪我をしたりする恐れがありますので注意してください。



3. L字プレートを滑車付ロッドと土台の取り付け口の間に差し込んでください。このとき、L字プレートが奥まで差し込まれていることを確認してください。



4. 高さ調整ネジを取り付け、しっかりと締め付けてください。

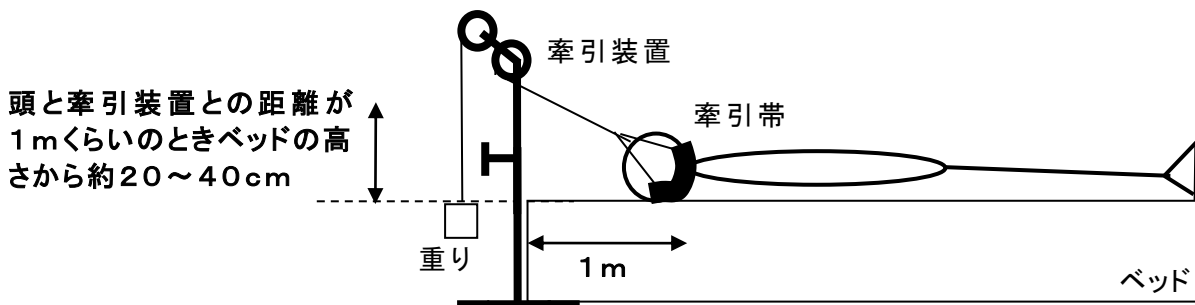


注意

締め付けが緩いと、滑車付ロッドが落下する恐れがありますのでご注意ください。

## 設定方法

1. 牽引装置をベッドサイドに設置してください。
2. 牽引の方向が $20^\circ$  上方になるように、牽引装置の高さを設定します。 $20^\circ$  の目安として、頭と牽引装置の距離を1mとしたとき、ベッドから牽引装置の滑車までの高さが約20~40cmとすればよいです。



注意

高さ調整は、重りを付けたままで行わないで下さい。滑車付ロッドが落下する恐れがあり危険です。

3. 紐を滑車に通し、両端に重り袋とハンガーを結びます。このとき、紐がきちんと滑車にかかっていることを確認してください。ハンガーに牽引帯を付けてください。

## 使用方法

---

1. ベッドに腰かけ、重りを床に落としている状態で頸椎牽引帯を装着してください。
2. ベッドに横になり、寝た状態で足方向に体をずらして重りをあげるようにしてください。牽引が開始されます。体の不自由な方や高齢者の方は、一人でしないで手伝ってもらってください。



**警告** 牽引中、首を回さないでください。

3. 牽引中、重りが床についてしまわないように注意してください。床についたときは、また体をずらして重りを上げてください。また、体が頭方向にずれやすい場合は、手すりなどにつかまるなど、工夫してください。
4. 重りの重さ、病院で牽引をしている方は病院の重さと同じにしてください。病院で牽引されてない方は、重りは2～3kgくらいにしてください。
5. 牽引時間は、1回20～30分としてください。最初は少なめより始めてください。
6. 牽引回数は、上述とは逆に、最初の1～2週は1日に2～3回行ってください。その後は1日に1回～2日に1回としてください。



**警告** 重りの重さ、牽引時間、牽引回数は守ってください。

---

商品のお問い合わせは下記までお願いします。

株式会社 長崎かなえ  
住所：長崎県長崎市坂本1丁目6-10  
TEL: 095-845-6255  
FAX: 095-845-6256